

福岡県 農業職 採用案内

福岡県庁で農業職として一緒に働いてみませんか？

仕事内容と主な勤務先

農業職の仕事内容は、農業行政、普及指導及び試験研究と、大きく3つの分野に分かれ、

- ①農業行政は、福岡県農林水産業・農山漁村振興条例に基づき、農業振興施策を企画立案し、推進
- ②普及指導は、生産現場の第一線で新品種・新技術の普及、産地の育成、農業経営力など、生産者等とともに現場の課題解決
- ③試験研究は、新品種・新技術の開発などの研究に取り組んでいます。

勤務先は、本庁の農林水産政策課、園芸振興課、水田農業振興課などの課や、県内の農林事務所、普及指導センター、農林業総合試験場、農業大学校等に配属されます。

本庁

- 農林水産政策課
部内の総合企画、試験研究調整
- 園芸振興課
果樹、野菜、花き、茶などの生産振興、流通対策
- 水田農業振興課
米・麦・大豆の生産振興や消費拡大、意欲ある農業者・生産組織などの育成、農地の利用集積に関する業務



普及指導センター

専門の資格を持った普及指導員が、市町村やJA等の各関係機関と連携を図りながら、直接農業者に接して生産技術や農業経営の指導・相談にあたり、意欲ある担い手の育成や地域農業の振興に努めています。



農林業総合試験場

県内の農林家や農林業団体、消費者などの要望に応えるため、ブランド化を進める新品種の開発や、競争力の高い農林業を支える技術の開発などの研究課題に取り組んでいます。



若手職員の一曰

case01



入庁7年目
飯塚農林事務所
飯塚普及指導センター
野菜係 主任技師

一言メッセージ

直接農家の皆さんに接して行う栽培技術や経営改善指導、農協や行政など地域の関係者と連携した農業振興など、業務は多岐にわたります。

現場の声に耳を傾け、一緒に考える姿勢を大切にしています。

これまでの県歴

入庁～3年目 経営技術支援課 技師
4年目～ 飯塚普及指導センター 技師～主任技師

一日の流れ

- 8:00 時差出勤制度を活用し、渋滞の少ない朝に出勤しています。出勤後は1日の予定を確認します。
- 9:30 担当する野菜の生育を確認するため、農家を訪問し、生育状況の聞き取りや現地調査を行います。
- 13:00 就農希望者の相談に対応するため、所内の経営担当者、市町村の担当者と、現状や今後について聞き取り、就農に向けた提案や助言を行います。対応内容は、上司や係員に情報共有します。
- 16:45 事務処理を済ませて帰宅します。休日は趣味のマラソンの練習に打ち込んでいます。

case02



入庁12年目
農林水産部
食の安全・地産地消課
生産安全係
主任技師

一言メッセージ

農業職は部署によって取り組む仕事内容が異なっているため、様々な角度から福岡県の農業の発展に関わることができるやりがいのある職種です。

これから、福岡県の農業のために、一緒に働けることを楽しみにしています。

これまでの県歴

入庁～5年目 福岡普及指導センター 技師～主任技師
6年目～8年目 水田農業振興課 主任技師
9年目～現在 食の安全・地産地消課 主任技師

一日の流れ

- 9:00 業務開始。1日のスケジュールとメールの確認などを行い、関係機関からのメールに対して、返信を行います。
- 9:30 環境負荷低減の取組に関する事業及び認定について、進捗状況を確認し、国と共有・協議します。
- 13:00 市町村等から提出された補助事業の申請書類を確認したり、国への提出書類の作成を行います。
- 15:00 農林漁業者から提出された申請書の内容を確認し、計画の認定を行います。
- 17:00 係の予算について、執行状況を確認・整理します。定期的に整理することで、適切に予算を使用するよう努めています。
- 17:45 退庁後は、帰宅し動画を見たりして体を休めています。

先輩職員からのメッセージ



農林水産部
経営技術支援課長

主な県歴

- ・平成6年 入庁
- ・令和4年 輸出促進課課長補佐
- ・令和6年～ 経営技術支援課長

受験者の皆さんへ

福岡県では、恵まれた自然環境のもと、いちごの「あまおう」や柿の「秋王」など全国に誇れる農産物が生産され、国内での販売に加え、タイやベトナム、米国などへ輸出されています。農業職は、農業者に直接接して行う生産性向上や経営改善、市町村や農協などとの連携による地域農業の発展、新品種の開発など、多種多様な業務に取り組めます。また、農業職の約半数が40歳未満であり、若い職員が各職場でいきいきと活躍しています。本県農業農村に携わる皆さんの「しあわせ」のため、私たちと一緒に歩んでみませんか？

人材育成の取組

職層	人事配置の考え方	階層別研修
技師 20代前半 ～20代後半	<採用後10年間（早期人材育成期間）> ○ 本庁と出先機関の人事交流や異なる部門を経験することを基本とした人事配置 ○ 異動年限は3～5年	○新規採用職員研修 ○技師研修 （採用3年目又は5年目） ○主任昇任研修
主任技師 20代後半 ～30代後半		○主任選択必修研修 （主任昇任後5年目）
技術主査 30代後半 ～40代前半	○ 本人の適性を踏まえながら、引き続き、将来のキャリア形成の幅を広げることを意識した人事配置 ○ 異動年限は3～5年	○主査研修
ライン係長 40代前半 ～40代半ば 課長補佐 40代半ば ～50代前半		○係長研修 ○課長補佐研修
課長級 次長級 部長級 50代前半～	○ これまでの職務経験や本人の適性等を踏まえた人事配置 ○ 異動の目安は2～3年	○課長級研修 ○所属長研修

このほかにも、基礎的な知識や技術を習得する新任者研修、普及指導員資格取得のための研修、専門分野の技術強化のための研修、農林水産省への職員派遣などを実施しています。

また、毎年、各研究分野の研究発表会や普及業務における検討会等を実施し、職員の資質向上に努めています。

勤務条件など

勤務時間・休暇

勤務時間は7時間45分が基本です。始業時間は①8時～②8時30分～、③9時～、④9時30分～、⑤10時～の中から選択(1日単位で選択可)できます。

休日は土曜日・日曜日(完全週休2日制)、祝日、年末年始です。年次休暇は1暦年毎に20日あり、最大20日まで翌年に繰り越すことができます。そのほか有給休暇として、特別休暇(夏季(6日間)、結婚、長期勤続、忌引等)、病気休暇の制度があります。

※窓口・施設など部署により、勤務時間や休日異なる場合があります。

給与

初任給およびモデル給与は次のとおりです(令和8年1月現在)。また、期末・勤勉手当(ボーナス)が1年間に約4.65月分支給されます。ただし、これらの額は条例などの改正により変更になることがあります。

<初任給> 本庁勤務の場合

試験の種類	初任給
I類試験(大学卒業程度)	252,000円程度
II類試験(短大卒業程度)	236,000円程度

※職歴・学歴・経験年数により加算される場合があります。

※このほか、通勤手当(原則全額支給)、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

<モデル給与> 30歳、家賃6万1千円の場合

	I類	II類
基本給	283,600円	281,700円
地域手当	16,000円	15,900円
扶養手当(配偶者、子1人)	14,500円	14,500円
住居手当	28,000円	28,000円
通勤手当(受給者の平均)	13,300円	13,300円
合計	355,400円	353,400円

※このほか、正規の勤務時間を超えて勤務した場合には時間外勤務手当が支給されます。

働きやすい職場を目指しています

・ワーク・ライフ・バランスの推進

毎週水曜日と金曜日、毎月19日(育児の日)を**全庁一斉定時退庁日**としていることに加え、毎年7月及び8月のそれぞれ第3週を**定時退庁推進週間**としています。

さらに、1日の勤務終了後から翌日の勤務開始までの間に原則として11時間以上のインターバル(休息)時間を確保する

「**勤務間インターバル**」や、年間を通して連続休暇(10日以上)の連続休暇を2回以上の取得を促す

「**連続休暇取得促進**」の取組みを推進しています。

・子育てしやすい環境の整備

産前産後休暇や育児休業のほか、育児短時間勤務、父親育児休暇、子の看護休暇など、子育て支援のための制度を設けています。

また、本県の独自策として、仕事と育児を両立しやすい職場環境をつくるため、育児休業を取得した職員の業務を分担した同僚職員に対して**勤勉手当の加算**を行っています。(令和6年度男性育児休業取得率は77.1%)

・働き方改革の推進

全ての職員がワーク・ライフ・バランスを実現しながら、それぞれの能力を十分に発揮できる、働きやすい県庁をめざした「**働き方改革**」を推進しています。特に、慣習にとらわれない若手職員のアイデアを提案として取り入れる「**若手職員による業務の見直し**」や県の将来の発展に向けて取るべき方向や政策について職員が自主的に研究、提言する「**未来への提言**」などを通じて、若い職員の発想や提案を積極的に取り込み、県庁の活性化、風通しの良い職場づくりを進めています。

農業職の業務に関する問合せ

福岡県農林水産部農林水産政策課

電話番号: 092-643-3464

メールアドレス: nousui@pref.fukuoka.lg.jp

試験に関する問合せ

福岡県人事委員会事務局任用課

電話番号: 092-643-3956

メールアドレス: saiyo@pref.fukuoka.lg.jp

※このリーフレットは令和8年2月版です。

試験の実施状況や応募方法等、詳しくは県のホームページをご確認ください。

